## 事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 04-04-01 戦略プラン ○協働 ○業務 ●財務 〇 人事 部課名 区民生活部税務課 課長名 根本 事務事業名 納税貯蓄組合連合会補助 担当者名 遠山 内線 2313 納税貯蓄組合連合会補助 01-03-01 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業 )年度 開始年度 1985 根拠 昭和 60 荒川区納税貯蓄組合補助金交付条例及び同規則 終期設定 年度 法令等 ○有●無 実施基準 〇 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 ● 非計画 分野 VII 計画推進のために 行政評価 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進 政策 事業体系 税収の安定的な確保 施策 納税貯蓄組合連合会が行っている区民の納税意識の啓発、口座振替納税の推進・税務行政への協力等の 活動に対する補助金の交付 目的 納税貯蓄組合連合会 59組合、907人の連合組織 対象者 主な活動内容 ・租税教育推進への取組み ・納期内納税や振替納税制度の普及推進 ·e-TAX及びeLTAXの普及推進 広報活動の充実 ・キャッシュレス納付の普及・拡大 内容 ・昭和18年に、納税資金の備蓄と計画的な納税を企図した納税活動を目的として、納税施設法が公布・施 行された。同法により、納税者の便宜を図る手段として、町内会や業者団体などを基盤として結成された 任意団体に対し、補助金を交付することとされた。昭和22年にこの法律は廃止されたが、昭和26年に納税 貯蓄組合法及び同法施行令が制定・施行され、組合数及び組合員数が全国的に急速に増加した。 ・昭和39年に納貯法の一部が改正され、納貯組合相互間の連絡調整や事業運営の指導育成などを担当する 団体として納税貯蓄組合連合会制度が法制化され現在に至っている。 経過 ・補助金は、都では昭和54年度まで単位組合に対して交付していたが、昭和55年以降は連合会に対して交 付している。荒川区においても、納税貯蓄組合連合会に対し昭和60年度から補助金を交付している。 ・平成20年度は、荒川区が実施した口座振替新規加入促進キャンペーンに協賛団体(協賛金20万円)とし て参加した。平成21、22年度も引き続きキャンペーンに協賛した。 ・令和2-4年度は、感染症拡大防止のため街頭啓発活動は中止されたが、令和5年度から再開した。 納税貯蓄組合連合会の活動を支援することは、区民の納税意識の普及啓発を図るために欠かすことがで きない。 必要性 (1直営 (直営の場合 ● 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ) 実施 ・納税貯蓄組合連合会の諸活動への一般補助、行事費及び研修費の補助、口座振替納税推進等への補助 方法 指標の推移 事務事業の成果とする指標名 指標に関する説明 5年度 目標値 指 2年度 3年度 4年度 見込み (8年度) 特別区民税普通徴収納期内納付率 78.04 80.44 81.20 82.72 88.44 (納期内納付額/調定額)(%) 標 3

 事務事業の分類
 分類についての説明・意見等

 5年度
 税収の安定的な確保に必要な事業であるため、継続して実施する。

 継続
 継続

(単位:千円)

予算	・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算	類	650	650	650	650	650	650	650
決算額	額(5年度は見込み)	520	520	520	520	520	520	650
実	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
績	組合数(組)	72	65	63	61	61	55	59
	組合員数(人)	897	836	786	758	758	727	907
推	中学生の税の作文の応募数	1, 083	926	1, 002	240	1, 023	1006	1010
移								
予算	・決算の内訳							

	令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	納税貯蓄組合連合会に対する補助	520	負担金補助等	納税貯蓄組合連合会に対する補助	520	負担金補助等	納税貯蓄組合連合会に対する補助	650

(単位:千円)

								\ <del>-</del>	
	勘定科目	3年度	4年度	差額		勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	492	461	<b>▲</b> 31		地方税等	0	0	0
-	物件費	0	0	0	<u>~</u> _	国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	北	都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	政収	分担金及び負担金	0	0	0
コス	政補助費等	520	520	0	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	使用料及び手数料	0	0	0
	費減価償却費	0	0	0	<b> </b> ^	その他	0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	0	0	0
曾	賞与・退職給与引当金繰入額	52	53	1	行區	枚収支差額(a)-(b)=(c)	<b>1</b> , 064	<b>1</b> , 034	30
算書	その他行政費用	0	0	0	金	融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1, 064	1, 034	▲ 30	通常	常収支差額(c)+(d)=(e)	<b>▲</b> 1,064	<b>▲</b> 1, 034	30
	特別費用(g)	0	0	0	特	別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当	期収支差額(e)+(h)	<b>1</b> , 064	<b>1</b> , 034	30

行政費用では、納税貯蓄組合連合会に対する補助金である補助費等の割合が最も高い。

問題点・課

題

区民の納税意識の啓発、口座振替納税の推進、税務行政への協力等、税務行政に関して積極的に関わる団体は他にはなく、区としても積極的に活動を支援していくことが重要である。一方で、補助金対象の活動については、eLTAXの推進、口座振替の推進、キャッシュレス納付の普及・拡大等、区にとってより多くの効果を生むような事業を検討していく必要がある。具体的には、年3回、団体が主となって実施している街頭啓発活動を、より効果的なものにしていく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ、街頭啓発活動を実施するか否かについて判断していく。	防止する観点から、街頭啓発活動は	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ、街頭啓発活動を実施していく。
2			
3			
施状況の実	(実施 <u>21</u> 区 未実施:杉並区	未実施 1 区 不明	0 区)
況 (要旨)			

## 事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 04-04-02 戦略プラン 〇協働 〇 業務 ●財務 〇 人事 部課名 区民生活部税務課 課長名 根本 事務事業名 納税奨励費 担当者名 遠山 2313 内線 01-03-02 その他奨励費 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業 #VALUE! )年度 開始年度 根拠 昭和 不明 年度 終期設定 法令等 ○有●無 実施基準 〇 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 ●非計画 分野 VП 計画推進のために 行政評価 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進 政策 事業体系 税収の安定的な確保 施策 区民税等の申告・納期限の周知を行うことにより、自主申告・納期内納税の促進を図る。 また、将来を担う児童・生徒が税金やその使い道に関心を持つような、税に対する啓発活動を行う。 目的 納税義務者等 対象者 ・税に関する中学生の作文・税に関する標語・絵はがきコンクールにおける区長賞の設定及び表彰 租税教育の一環として実施される納税貯蓄組合連合会主催の「中学生の税に関する作文」、 間税会主催の「中学生の税の標語」、荒川法人会主催の「税に関する絵はがきコンクール」 について、区長賞を設け、賞状及び記念品を贈呈している。 ・たばこ小売業者に対する販促品の配布 内容 ・平成9年度までは、たばこ税の増収促進を図るPR用品の予算を計上していたが、平成10年度以降は財政的 な理由により休止した。平成12年度、平成13年度に議会に予算化する旨の陳情が出され、趣旨採択された ため、平成14年度からは、区民にできる区財政への協力策として、「区内でたばこを買うこと」のPRをメ インに販促品の配布を行っていた。平成21年度から平成30年度までは、たばこを取り巻く環境の変化から たばこエチケットのPRにシフトチェンジしたものの、令和元年度からは、再び事業主旨である「区内でた ばこを買うこと」のPRをメインに販促品を作成している。 経過 ・申告期限周知ポスターの作成及び車内掲出は、平成13年度を契機に見直しを行い廃止した。 ・平成20年度から平成22年度まで新規口座振替加入を増加させるため、荒川区の友好都市の特産品を送る 「口座振替キャンペーン」を納税貯蓄組合連合会の協賛を得て実施した。 ・税務署、都税事務所と共催していた年末調整説明会については、令和3年度以降、国税庁によるデジタル 技術を活用した情報提供体制となったことから実施しないこととなった。 自主申告、納期内納税の促進及び将来を担う児童・生徒の租税に対する意識高揚のために必要な事業で ある。 必要性 (1直営 (直営の場合 ● 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ) 実施 (1)税に関する中学生の作文、税に関する標語、絵はがきコンクール 夏休み期間中募集 方法 (2) たばこ税PR用品の配布

			車致車業の	成果とする指標名			指標の推	移		+64	亜ィー良日子	- Z <del>=</del> ∺	<b>98</b>	
	指		争伤争未仍	成未と 9 る相保石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)		指標に関する説明 見年課税分(普徴・特徴・過年度で †)			
		1	特別区民税約 期内完納額/	対期内納付率(%) (納 √調定額)	91. 77	92. 59	92. 63	93. 24	92. 44	現年課税分 計)	(普徴・	特徴・	・過年度合	
	標	2												
		3												
ſ			事務事	業の分類			,	(粘)の	いての説明	1.辛日生				
ſ		5	年度	6年度			7	が類にフ	いくの記り	」。 思兄守				
	重	点	的に推進	重点的に推進	税収の	の安定的	な確保に	不可欠な	な事業であ	るため、重	点的に	推進す	-る。	

												(畄4	No2 立:千円)
予算	· 爿	· ・算額等の推移		29年度	₹ ;	30年度		元年度	<b>E</b> 2年	- 度	3年度	4年度	5年度
予算				46	-	643		76		543	510	443	443
決算	額	(5年度は見込み)		35		401		40		373	355	381	443
実	_L°	事項名(5年度は見込		29年度		30年度	-	<u>元年度</u>		度 000	3年度 39,000	4年度	5年度
績の	小	ケットティッシュ(作り	火蚁)	35, 5	00	41, 000		41, 0	00 3	9, 000	39, 000	39, 000	39, 000
推													
移													
予算	· 爿	そ算の内訳							<b>_</b>				
		令和3年度(決算)			- 令和	14年度(		算)				年度 (予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事			金額(千円)	節		Eな事項	金額(千円)
需用 役務		消耗品費・印刷製本費(たばこ税PR物品等) 税に関する中学生の作文等表彰状筆耕	344 12	需用費 役務費		印刷製本費(たば る中学生の作文			370 11	需用費 役務費		製本費(たばこ税PR物品等  学生の作文等表彰状筆	101
使用料		年末調整説明会場使用料、たばこ税手持品課税説明会場使用料等	0	以仂貝	ルルトラ	<u> </u>	77 1X 1	が小手が	11	汉加县	1/11/2   1/11/2   1/11/2	于工VIF人 守农 彩 V/4	-ил 12
127101													
		바수된다	○左 ☆	A /	· #=	<del>-</del>			배수하드		0左座		立:千円) 辛妇
		勘定科目 給与関係費	3年度		E度 1, 185	差額	79		勘定科目 方税等		3年度 0	4年度 0	差額 0
		<u>稻子舆馀箕</u> 物件費		55	1, 185 381		26		<i>乃怳寺</i> 庫支出st	<del>}</del>	0	-	0
行		維持補修費		0	0		0	行都	<u>库文田』</u> 支出金	-	0		0
政		扶助費		0	0		0		担金及び負	負担金	0		0
コス	政	補助費等		0	0		0		用料及び	手数料	0		0
^  -		減価償却費		0	0		0		の他		0		0
計		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-1	0	107		0		政収入合		0	_	0
算		賞与・退職給与引当金繰入額 その他行政費用	l	33	137				<sub>支差額(a)-(</sub> <b>収支差</b> 額		<b>▲</b> 1, 752	<b>▲</b> 1, 703	49 0
書	ı	ての他打成負用 行政費用合計(b)	1 7	v	1, 703				<b>以义左</b> 命 支差額(c)+(		<u> </u>	<b>▲</b> 1, 703	49
	特	<u>りぬ食がらい、の)</u> 別費用(g)	1, 7	0	0				<b>収入</b> (f)	(4) (0)	0		0
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				支差額(e	)+(h)	<b>▲</b> 1, 752	<b>▲</b> 1, 703	49
備		行政費用では、給与関係							_				
考	O;	物件費の大部分は需用	費であり	、需用費	の内	訳として	は、	、たは	tこ税PR	用品に	おける印刷	削製本費が最	<b>長も多い。</b>
	0	たばこ税PR用品は、税」	収確保の	ほか、喫	煙者	のマナー	向.	上に泪	用して	いく必	要がある。		
題		賦課事務の効率化、正確											D順守、
点	eL <sup>-</sup>	「AXの利用促進等につい	て積極的	JにPR広報	報活動	りを行って	てし	く必	要がある	0 0			
-		特別徴収義務者の制度に									、国税庁(	こよるデジタ	ル技術を
一个	)石。	用した情報提供を案内で	9 0 4 6	して、ラ	仮も	向知觙选	21	凶る火	多ながめ	ବ			
題													
問題	点・	課題の改善策											
		令和4年度に取り約				和4年度(						度以降に取り	
		具体的な改善内	容		也	<b>ズ善内容</b> お	કે દે	び評	価		具体	的な改善内	容
		後もたばこを区内で購ん				区内で購入						を区内で購	
1		、更なるたばこ税増収し				RのPR内容				_		たばこ税の	
		、PR内容等について、『 り一層の連携に努める。				:緊密にi そめた。	里拐	<b>ちし、</b>	/こば こ 村		けるため、 いく。	より一層の	にいる行う
							11.5-	L 1 ^	<b>T</b> \$XT <del>'</del> → •			ᇇᆇᇄᅩᆞ	V TSAT T
		川税理士会や荒川法人: 催している勉強会等に[										きや荒川法人 へる勉強会等	
2		催している超强会等に として派遣し、給与支持										・る起強云寺 〔派遣し、給	
		ついて説明する。				説明した。		,	<b></b> .			て説明を行	
				-						$\dashv$			
3													
施区		(実施 22	区	未実	施	0		区	不明	月	0	区)	
施状況の実	-												
況の													
	-												
況議													
へ 会 要質													
安貝旨問													
世狀													

								元之	(0十尺)	
		1								
木	票	2								
		3								
			事務事業	まの分類 あんり また こうしょう こうしょう こうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょう しょう しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ				八	======	÷ = #
		5:	年度	6年度					いての説明	
		糸	継続	継続	法令_	上の必要	経費であ	り、継糸	売して実施 <sup>・</sup>	する。

No2 (単位:千円)

	・決算額等	の推移		29年月		30年度	元年原		度	3年度	4年度	5年度
予算	額 額(5年度Ⅰ	+ 目 2 1 2 1 1			41 39	39 39		47 40	50 50	69 69	45 41	3
実		<u>ょ兄込の)</u> 3 (5年度は見辺	(み)	29年月		30年度	元年原		F度	3年度	4年度	
積		(区民事務所分			187	489		484	486	498	474	467
の	H1 311 22	<u> </u>	<u> </u>									
推												
移												
予算	・決算の内											
		3年度(決算)	_		- 令和	14年度(					F度(予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節	\\\ <del>+~</del> [	主な事		金額(千円)	節		な事項	金額(千円)
需用:	貫   泊耗品:	費、印刷製本費	69	需用費	消耗占	品費、印刷	削製本質	41	需用費	消耗品費	<b>E</b>	3
			<u> </u>						ļ	<u> </u>	(単化	立:千円)
	勘	定科目	3年度	4 <b>년</b>	F度	差額		勘定科目	1	3年度	4年度	差額
	給与関		1, 7	56	1, 975	2		方税等		0	0	0
<b>/</b> -	物件費			69	41		28 📜 🗷	庫支出金	<b>È</b>	0	0	0
行	維持補	修費		0	0			支出金		0	0	0
山口	行 扶助費			0	0			担金及び		0	0	0
コス	政補助費			0	0			用料及び	手数料	176	160	<b>▲</b> 16
\ \rac{1}{r}	費減価償			0	0			· の他	=1 ( )	0	0	0
計		・貸倒引当金繰入額		0	0			政収入合		176	160	<u>▲ 16</u>
算		職給与引当金繰入額		84	228			支差額(a)-		<b>1</b> , 833	<b>2</b> , 084	<b>▲</b> 251
書		行政費用 用合計(b)	2, 0	v	2, 244	2		<b>収支差</b> 額 <sub>支差額(c)+</sub>		<u>0</u> <b>1</b> ,833	0 ▲ 2,084	<u> </u>
	特別費用		Σ, 0	0	<u>2, 244</u> 0			収入(f)	(u) = (e)	0	0	0
		.g/ E額(f)-(g)=(h)		0	0			又支差額(を	e) + (h)	<b>▲</b> 1,833	<b>▲</b> 2, 084	<b>▲</b> 251
/++-		用では、給与関		合が最ま	高い		0 -///	XX = 1X ( )	, (,	_ 1,000	<b>=</b> 2,001	
備考		は全て需用費で			,,,,,	,						
有	〇行政収入	入の使用料及び	手数料は					ある。				
問		及び番号標(仮							<b>.</b>	- 40 <del>-</del> 11 -	- 45 - 57	- 1 <i>-</i> 11 ##
題		及び番号標(仮 なぶ	ナンバー	)長期禾	这納	首への対	応 (時	間帯を考	慮して(	の架電や美	『悲調査の』	『施や警祭
点	への通報が	J (2)										
課題												
問題	点・課題の	改善策										
	令	和4年度に取り	 組む		令	和4年度	こ実施し	た		令和5年度	度以降に取り	ノ組む  ̄ ̄
		具体的な改善内				善内容を					的な改善内	
	長期の未記	<b>区納者が出ない</b>	ように、	今仮ナ	ンバー	-の返却フ	が遅れた	場合は、	今後	きも貸し出	した標識を	全て回収
		寺に返納につい		を毎日	時間帯	<b>きを考慮</b>	して架電	したり、	でき		、複数の連	
1	行うととき	もに、複数の連		う電話				督促書や	ゃ  うと	ともに、	貸出時に丁	
	などの対応	むを行う。		警告	書によ	り返却	を促した	- 0	を行	īう。		
2												
									1			
3												
佃	(実施	22	区	未実	施	0	区	不見	明	0	区)	
施状況の実	( ) < /i>		_	-112			_					
状の												
沈実												
況議												
今 云 要 皆												
(要旨)												
一状												
-	<u> </u>											

## 事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 04-04-04 戦略プラン 〇協働 〇 業務 ●財務 〇 人事 部課名 区民生活部税務課 課長名 根本 事務事業名 区税賦課徵収事務費 担当者名横山、齋藤、荒川 2313 内線 賦課徴収事務費 01-01-01 事務事業を構成する小事業名 01-01-02 区税等の支払方法の拡充 及び予算事業コード(5年度) 電子申告システム運用事業 01-01-03 事務事業の種類 〇 新規事業 ( 〇 5年度 O 4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業 )年度 根拠 開始年度 1950 昭和 25 地方税法等 年度 終期設定 法令等 ○有●無 ●非計画 実施基準 〇 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 分野 VII 計画推進のために 行政評価 政策 15 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進 事業体系 税収の安定的な確保 施策 03 区民税等の賦課徴収に要する事務経費 目的 納税義務者等 対象者 ・地方税法等に基づき、区民税、軽自動車税等の課税を行い、それらの区民税の収納管理(収納確認、還 付・充当)、徴収事務(督促・催告、財産調査、滞納処分等)を行う。 ・区税賦課徴収事務費の主なものは、過誤納金還付金(減額更正等により税額が変更されたことによる過 納金、二重納付等により超過納付した場合の誤納金等)、滞納整理支援システム保守運用、コンビニ、ク レジットカード等の支払方法、電子申告システムに係る経費等がある。また区民税の納税通知等の各種印 刷物の作成、それらの発送に係る郵送料のほか、区民税・軽自動車税等の収納テープ作成に係る委託料等 内容 である。歳入(特定財源)に関しては、都からの都民税払込分、諸収入の延滞金等である。 ・平成14年度から滞納整理支援システムを導入 ・平成21年度から公的年金からの区民税の特別徴収が義務化された。 ・平成21年度から税務専門指導員を配置し、滞納整理事務に関する専門指導・助言を実施。 ・平成21年7月納付案内センターを開設。滞納者を出さない取組みとして電話による納付案内を実施。 ・平成22年度5月からコンビニ収納、ペイジー収納、クレジットカード収納及びモバイルレジ収納を導入 ・平成23年度からインターネット公売開始 経過 ・平成28年度に不動産の公売を実施 特別徴収義務者に対する捜索実施 ・平成29年度からオール東京での特別徴収の徹底を開始 自動車の差押・取上及び公売を実施 ・令和3年度5月からスマートフォン決済アプリ納付(PayPay、LINEPay)を導入(順次拡充) ・令和4年度4月からeLTAXの共通納税、令和5年度4月から地方税お支払いサイト、WEB口座振替を導入 区財政を支える区税収入を安定的に確保するために必要となる経費及び法の規程により還付しなければ ならない過誤納還付金であるため。 必要性 (1直営 (直営の場合 ● 常勤職員 ● 会計年度任用職員 ) 実施 方法

	東政東業の	出田しナス七冊々			指標の推	移		七一田士 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
指	事務争未の	成果とする指標名	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標に関する説明
	1 特別区民税现	見年課税分徴収率(%)	98. 39	99. 09	99. 05	98. 69	99. 08	
標	② 特別区民税港	带納繰越分徴収率(%)	45. 13	46. 93	43. 60	42. 98	49. 24	
	③ 特別区民税音 (納期内納付	音通徴収納期内納付率 額/調定額)(%)	78. 04	80. 44	81. 20	82. 72	88. 44	
	事務事	業の分類				1年1-0	いての芸品	<del>立</del> 日 <b>佐</b>
	5年度	6年度			7	が短にづ	いての説明	* 思兄寺
					な確保に 点的に推			り、一部は法令上の必要経費で

重点的に推進

重点的に推進

No2 (単位:千円)

												<u> </u>
	・決算額等の推移		29年度		30年度	元年		2年度		3年度	4年度	5年度
予算	額		284, 93	31 2	00, 349	169, 3	37 2	263, 97	9 2	27, 325	263, 176	289, 068
決算	額(5年度は見込み)		151, 24	46 1	45, 800	121, 4	48 2	223, 94	9 1	88, 831	218, 139	289, 068
実	事項名(5年度は見)	<b>入み)</b>	29年度		30年度	元年		2年度		3年度	4年度	5年度
績	区税収入の推移(千円)									562, 761		19, 762, 809
	区代状人の推移(111)		10, 030,	444 17	, 555, 666	10, 009,	023 10	), <del>4</del> 07, 4	100 10	, 302, 701	19, 420, 900	19, 702, 009
の ##												
推												
移												
予算	・決算の内訳											
	令和3年度(決算)			令和	]4年度(	決算)				令和5年	F度(予算)	
節		金額 (千円)	節		主な事		金額(千	-円)	節		な事項	金額 (千円)
報酬/職員子高等/共3		19, 887	報酬/職員子品等/共済費/旅費	<b>幸尼 延州</b>	 、期末手		20, 0		于当等/共済費/股費		明末手当等	17, 961
	用費 消耗品費・印刷製本費・物品修繕		一般需用費		<ul><li>・印刷製本費</li></ul>		8, 30		と		別へ ココサ	
役務:		,	役務費		その他の通信運		49, 7		務費		也の通信運搬費・手数	,
委託	料 その他の委託料	31, 183	委託料	その	他の委託	:料	52, 40	- 1	託料	その他の	D委託料	95, 951
使用料及び賃	環借料 預金電子照会サービス利用料等	₹ 1, 256	使用料及び賃借料	預金電子	子照会サービ.	ス利用料等	5, 52	23 使用料	及び賃借料	預金電子照金	会サービス利用料	等 8,888
備品購	入費 備品購入費	492	負担金補助及び交付金	事務研	修、eLTAX関	[係費用等	9, 58	34 角担金料	前助及び交付金	事務研修、	eLTAX関係費用	等 12,474
償還金利-	丹等 過誤納金還付金	67, 084	償還金利子等	過誤	納金還付	· 余	72, 5	83 償還:	金利子等	過誤納会	金還付金	68, 220
	(C)	<u>'</u>		, C #7 (1		_	<u> </u>			A) (1111		位:千円)
	勘定科目	3年度	14	F.度	差額		勘定和	11日	T	3年度	4年度	差額
		297.9		+ 皮 7, 676	<b>左</b> 領 9,7	70 14	動 上方税				19, 452, 322	
	給与関係費								10		_	952, 883
行	物件費	95, 4		6, 657	21, 2		庫支出			0	0	0
	維持補修費		0	0			<b>『支出</b> :			27, 380	28, 202	822
政	行 扶助費		0	0			担金及	び負担	金	0	0	0
	政 補助費等	67, 3	302 7	3, 780	6, 4	78 7 使	用料及	び手数	(料	7, 163	7, 330	167
ス	費減価償却費		0	0			の他			11, 815	8, 532	<b>▲</b> 3, 283
<b> </b>	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	54, 0	•	6, 853	<b>▲</b> 7, 2			(合計(	a) 18		19, 496, 386	
計	賞与・退職給与引当金繰入額	,		3, 317		73 行政収					18, 918, 103	
算		23, 0	0	0, 317	3, 3					001, 739	0	910, 544
書	その他行政費用	E 4.4 (	ŭ		24.0	0 金融					•	016 244
	行政費用合計(b)	544, (		8, 283		45 通常収			(e) 18		18, 918, 103	916, 344
	特別費用(g)	12, 3		0, 123		<b>26</b> 特別				2, 163	1, 661	▲ 502
	特別収支差額(f)-(g)=(h  ○行政費用では給与関係			8, 462		28 当期		類(e)+(l	h) 17	, 991, 525	18, 889, 641	898, 116
77					こよるも				<del>-</del>	124 5-45 -44		
考し問題点・課題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、令 付しやすい環境づくりを 態を十分調査した上で、 ○滞納の発生を抑止する ○特別徴収義務者の滞納 ○過誤納金還付金は、景	に特別区 和3年5月 行う。 滞納を ため、 はの発生を	<u>税の延滞</u> に導入し た、着手 に 別徴 か か か な る で る で る で の で の で の で の で の り の り の り の り の り の	帯金の た率になる になっていた。 になった。	<u>増減を、</u> マートた要く マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン	<u>特別収</u> オン決 、未 ある ひ口 相談を	入は還 済アブ 者 振替 変行う必	プリ納付 してに の 比率 の が あ	寸等の は、早 を を る。	更なる抗 期の財産 めていく	は充と周知る き調査等に。 〈必要がある	を行い、納 より生活実 る。
問題点・課題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、会付しやすい環境づくりを態を十分調査した上で、 ○滞納の発生を抑止する ○特別徴収義務者の滞納 ○過誤納金還付金は、景	に特別区 和3年5月 行う。 滞納を ため、 はの発生を	<u>税の延滞</u> に導入し た、着手 に 別徴 か か か な る で る で る で の で の で の で の で の り の り の り の り の り の	帯金の た率になる になっていた。 になった。	<u>増減を、</u> マートた要く マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン マーカン	<u>特別収</u> オン決 、未 ある ひ口 相談を	入は還 済アブ 者 振替 変行う必	プリ納付 してに の 比率 の が あ	寸等の は、早 を を る。	更なる抗 期の財産 めていく	は充と周知る き調査等に。 〈必要がある	を行い、納 より生活実 る。
問題点・課題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、会 付しやすい環境づくりを 態を十分調査した上で、 ○滞納の発生を抑止する ○特別徴収義務者の滞納 ○過誤納金還付金は、景 点・課題の改善策	に特別区 和3年5月 行う。整 ため発生を の変動に	<u>税の延滞</u> に導入し た、着手 に 別徴 か か か な る で る で る で の で の で の で の で の り の り の り の り の り の	帯金のサースを表している。 たて本のにいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 とれる。 とれる。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	増減ートと を トた要 ・ リカが ・ リカが ・ リカが ・ リカが ・ は ・ は ・ は りな り りな り り り り り り り り り り り り り り り	特別収決納・あ及相場のは多額のである。	入は選び を	プリ納付 してに の 比率 の が あ	対等の は、 を ある等の ー	更なる 期の 財 の 財 の い ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は充と周知る 全調査等に。 (必要がある 想定される。	を行い、納 より生活実 る。
問題点・課題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、会付しやすい環境づくりを態を十分調査した上で、 ○滞納の発生を抑止する ○特別徴収義務者の滞納 ○過誤納金還付金は、景点・課題の改善策	に特別区 和3年5月 行うの整 たの発動 ・ 組む	<u>税の延滞</u> に導入し た、着手 に 別徴 か か か な る で る で る で の で の で の で の で の り の り の り の り の り の	帯金のサードを たス率 て給た を が 令 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	増 マ 上 く 天 ・ 関 で い の 必 引 丁 加 に 要 き 寧 し に 要 も に 要 も に 要 も に に の が ) に に に に に に に に に に に に に	特別収決納。のおりでは、大学のでは、それらいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	入済者 座行は した	プリ納付 してに の 比率 の が あ	対等の は、 を ある等の ー	更なる財産 めていく 事態もを 令和5年	は充と周知る 全調査等にある。 思定される。 度以降に取	を行い、納 より生活実 る。 り組む
問題点・課題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、会 付しやすい環境づくりを 態を十分調査した上で、 ○滞納の発生を抑止する ○特別徴収義務者の滞納 ○過誤納金還付金は、景 点・課題の改善策	に特別区 和3年5月 行うの整 たの発動 ・ 組む	<u>税の延滞</u> に導入し た、着手 に 別徴 か か か な る で る で る で の の の の の の の の の の の の の の	帯金のサードを たス率 て給た を が 令 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	増減ートと を トた要 ・ リカが ・ リカが ・ リカが ・ リカが ・ は ・ は ・ は りな り りな り り り り り り り り り り り り り り り	特別収決納。のおりでは、大学のでは、それらいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	入済者 座行は した	プリ納付 してに の 比率 の が あ	対等の は、 を ある等の ー	更なる財産 めている 事態 もた 令和5年 原	は充と周知る 全調査等に。 (必要がある 想定される。	を行い、納 より生活実 る。 り組む
問題点・課題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、令付しやすい環境づくりを態を十分調査した上で、○滞納の発生を抑止する○特別徴収義務者の滞納○過誤納金還付金は、景点・課題の改善策令和4年度に取り具体的な改善の	に特別区 和3年5月 行う納か、 おの発動 の免変 動む 日のな は 日のな 日のな 日のな 日のな 日のな 日のな 日のな 日のな 日のな 日のな	税の運用にたいる できない かい できょう できょう でき でき でき でき でき でき でき でき かい	#金のオート ルマンで ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<u>曽</u> 減一の必引でいる。 マーの必引でいる。 アーた要き率しでいる。 和4年内容は は、フロッグでは、フロッグでは、フロッグでは、フロッグでは、フロッグでは、フロックでは、フロッでは、フロッでは、フロッでは、フロックでは、フロックでは、フロッでは、フロッでは、フロックでは、フロッでは、フロッでは、フロッでは、フロッでは、フロッでは、フロックでは、フロッではでは、フロッでは、フロッではでは、フロッではでは、フロッでは、フロッではでは、フロッではでは、フロッではでは、フロッではではではでは、フロッではではではではではではではではではではではではではではではではではではでは	特別 切 大 大 あ 及 相 場 に に に に に に に に に に に に に	入済者 座行は にて 振う予 た に 振う・ た に しょ こ に しょ こ しょ こ しょ こ しょ こ しょ こ しょ こ	『リ納付は 『中の比率の 『サックの 『中の 『中の である』	対 等 の 早 高。 の 当 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	更なる財産 めていく 事態もを 令和5年原	な充と周知る 全調査等に。 (必要がある 思定される。 度以降に取 のな改善内	を行い、納 より生活実 る。 り組む 容
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、令付しやすい環境づくりを態を十分調査した上で、○滞納の発生を抑止の滞納の過誤納金還付金は、景点・課題の改善策令和4年度に取り具体的な改善が、具体的な改善が、関内納税者との公平性の表表ののでは、第1000000000000000000000000000000000000	に特別区 和3年5月 計分納めの で 知り で は で を 担保 を 担保 を 担保 を を を を を を を を を を を を	税の連済にからいる。 一たに別押件 のでは、着徴止い。 のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	帯金 た率 で 名 た 名 た 名 た 名 た る る る る る る る る る る る る	増マ上く天、曽 和4 ・ フめが)なた 度 は ・ フめが)なた まる は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は	特別ン未るび談合 実よッ で に う り り り り り り り り し た り し た り し し し し し し	入済者 座行は に価 ジー がっぱっぱい おいばい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	『リ納付は 本の と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	対等の早 高の 税収(	更なる財産 めている 事の 財産 の 事 を	な充と周知に を調査等にある。 は定される。 はななでは、 はななでは、 はななでは、 はななでは、 はななでは、 はななでは、 はななでは、 はないでは、 もないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 もなでは、 もなでは、 もなでは、 もなでは、 もなでは、 もなでは、 もなでも、 も。 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも、 もなでも。 もなでも、 もなでも、 もなでも。 もなでも、 もをも。 もっと。 もっと。 も。 もっと。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	を行い、納 より生活 る。 り組む はから
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、令付しやすい環境づくりを態を十分調査した上で、○滞納の発生務者の滞納の過誤納金還付金は、景点・課題の改善策令和4年度に取り具体的な改善が、納明内納税者との公平性があ、納付がない者へのため、納付がない者への	に特別区 7年 1年	税にたに別抑伴 延済、着徴止い の導、着徴止い Sス M	<u>帯金</u> た率で給た額 への への でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま	増マ上く天、曽 和善 和善 コレ をトた要き寧し 年内 一、 しまり はいかい なた ままり はい	特別ン未るび談合 実よ ッ強 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<u>入</u> 済者 座行は に ジ図 で 振う予 た	『リ納付は、野の大学のでは、「は、「ののでは、」では、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	対 等 、 を る 等 の 一 税 も 、 し 、 に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に 。 に る に 。 。 に 。	更期 め 事 令 の の の の の の の の の の の の の	な充と周知に を調要がある。 は定とをでいる。 はななななでは、 はなななななななななななななななななななない。 はなななななななななない。 はななななななななない。 はなななななない。 はなななななない。 はななななななない。 はなななななななななな	を行い、納実 る。 り容 が 記 記 の た
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、令付しやすい環境づくりを態を十分調査した上で、○滞納の発生を抑止の滞納の過誤納金還付金は、景点・課題の改善策令和4年度に取り具体的な改善が、具体的な改善が、関内納税者との公平性の表表ののでは、第1000000000000000000000000000000000000	に特別区 7年 1年	税にたに別抑伴 る産。 び導、着徴止い Sスま がある。 M) た	<u>帯</u> かない は	増マ上く天、曽 和善 和善 コし者 をトた要き寧し 年内 一、に で は かい なた は は かい なた は かい は か	特ォ、あ及相場 こる メ告し 収決納。口をに 施び セ化は 収割 しき しい しい しい しい かい こう こう こう かい こう	入済者 座行は で で で で で で で で で で で で で で で の で で の で の に の で の に の で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に に に に の に <b< td=""><td>『リ納付は、野の大学のでは、「は、「ののでは、」では、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、</td><td>対は 率 あ 等 、 を る 等 、 の に 、 、 の に 、 の に 、 の に 、 の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に 。 に 。 に る に 。 。</br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></td><td>更期 め 事</td><td>本 注 で は で は な で は で で が れ の に 善 の で な で に 善 の の 上 が で で で で で で で か か る。</td><td>を行い、納実 る。 り容 が 記 記 の た</td></b<>	『リ納付は、野の大学のでは、「は、「ののでは、」では、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	対は 率 あ 等 、 を る 等 、 の に 、 、 の に 、 の に 、 の に 、 の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に 。 に 。 に る に 。 	更期 め 事	本 注 で は で は な で は で で が れ の に 善 の で な で に 善 の の 上 が で で で で で で で か か る。	を行い、納実 る。 り容 が 記 記 の た
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、今付しやすい環境でと上で、の滞れの発生を指した上で、るの特別機会では、の特別機会では、では、の時間がある。 ○特別では、では、のののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<u>に</u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	税 に た に た に た に た に た に れ に た に れ に た に れ に た に れ に た に れ に た に れ に れ い こ れ い こ こ れ い こ れ い こ こ こ れ い こ <br< td=""><td><u>帯金た率で給た額</u> のス向い与めが 令改 シ に活来押 の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>増マ上く天、曽 和善 a l a l a l a l a l a l a l a l a l a</td><td>特別ン未るび談合 実よ ッ強て行 収決納。ロをに 施び セ化はっ</td><td>入済者を行は、近一が図財のではアに振う予には、ジョン・カー・ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・</td><td>『 けし の要費</td><td>対は、率あ当 税もめかの早 高。の 収・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>更期 め 事</td><td>は 在 在 で で で で で で で で で で で で で</td><td>を けり は い は い は に に に に に に に に に に に に に</td></br<>	<u>帯金た率で給た額</u> のス向い与めが 令改 シ に活来押 の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善 a l a l a l a l a l a l a l a l a l a	特別ン未るび談合 実よ ッ強て行 収決納。ロをに 施び セ化はっ	入済者を行は、近一が図財のではアに振う予には、ジョン・カー・ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	『 けし の要費	対は、率あ当 税もめかの早 高。の 収・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	更期 め 事	は 在 在 で で で で で で で で で で で で で	を けり は い は い は に に に に に に に に に に に に に
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、ら 付しやすい環境でに上する。 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	に111222233<	税 にたに別抑伴 の導、着徴止い の以表で の以表で の以表で の以表で の以表で の以表で の以表で の以表で の以表で のは、 <b< td=""><td><ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 コレオ速 務 ボーの必引丁加 年内 一、にや 者 ・ このが)なた 度な に対か へ</td><td>特オ、あ及相場 にお メキしこ 美別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付収決納。口をに 施び セ化はっ する、たる</td><td>入済者を行は、近日を対している。当時では、これの</td><td>『 けしの要費 一た調 税 で が充 だ。 の の の の の の の の の の の の の</td><td>対は 率 あ 等 一 税 も め か 特 別 で 見 。 の り で に 1 別 で</td><td>更期 め 事</td><td>ta ta t</td><td>を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に</td></li></ul></td></b<>	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 コレオ速 務 ボーの必引丁加 年内 一、にや 者 ・ このが)なた 度な に対か へ</td><td>特オ、あ及相場 にお メキしこ 美別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付収決納。口をに 施び セ化はっ する、たる</td><td>入済者を行は、近日を対している。当時では、これの</td><td>『 けしの要費 一た調 税 で が充 だ。 の の の の の の の の の の の の の</td><td>対は 率 あ 等 一 税 も め か 特 別 で 見 。 の り で に 1 別 で</td><td>更期 め 事</td><td>ta ta t</td><td>を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 コレオ速 務 ボーの必引丁加 年内 一、にや 者 ・ このが)なた 度な に対か へ	特オ、あ及相場 にお メキしこ 美別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付収決納。口をに 施び セ化はっ する、たる	入済者を行は、近日を対している。当時では、これの	『 けしの要費 一た調 税 で が充 だ。 の の の の の の の の の の の の の	対は 率 あ 等 一 税 も め か 特 別 で 見 。 の り で に 1 別 で	更期 め 事	ta t	を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主会の付し、のででは、会会でである。 ○利便性向上のため、りを、のででは、のででは、のででは、できる。 ○特別徴収義のでは、のでででででできる。 ○特別は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	に111222233<	税にたに別抑伴 る産。 知なの導、着徴止い Sスま査 特通 延入徴手収す還 M)た、別知	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 コし者速 務制減一の必引丁加 年内 一、にや 者度をトた要き寧し 年内 一、にや 者度の でしかが)なた 度容 ト権対か への</td><td>特 オ、あ 及 相 場 に S メ 告 し こ 美</td><td>入済者を行は して いの 当知はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知なの 対する かっぽ がする かっぽん かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいしょう しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし</td><td>プリし の要費</td><td>付は 率 あ 等 、 を る 等 、 、 に 別に の 早 の に 別に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に 。 に に 。</td><td>更期 め 事</td><td>ta ta t</td><td>を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 コし者速 務制減一の必引丁加 年内 一、にや 者度をトた要き寧し 年内 一、にや 者度の でしかが)なた 度容 ト権対か への	特 オ、あ 及 相 場 に S メ 告 し こ 美	入済者を行は して いの 当知はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知なの 対する かっぽ がする かっぽん かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいしょう しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし	プリし の要費	付は 率 あ 等 、 を る 等 、 、 に 別に の 早 の に 別に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に 。 に に 。	更期 め 事	ta t	を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主 ○利便性向上のため、ら 付しやすい環境でに上する。 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	に111222233<	税にたに別抑伴 る産。 知なの導、着徴止い Sスま査 特通 延入徴手収す還 M)た、別知	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 コレオ速 務 ボーの必引丁加 年内 一、にや 者 ・ このが)なた 度な に対か へ</td><td>特 オ、あ 及 相 場 に S メ 告 し こ 美</td><td>入済者を行は して いの 当知はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知なの 対する かっぽ がする かっぽん かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいしょう しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし</td><td>プリし の要費</td><td>付は 率 あ 等 、 を る 等 、 、 に 別に の 早 の に 別に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に 。 に に 。</td><td>更期 め 事</td><td>ta ta t</td><td>を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 コレオ速 務 ボーの必引丁加 年内 一、にや 者 ・ このが)なた 度な に対か へ	特 オ、あ 及 相 場 に S メ 告 し こ 美	入済者を行は して いの 当知はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知なの 対する かっぽ がする かっぽん かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいしょう しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし	プリし の要費	付は 率 あ 等 、 を る 等 、 、 に 別に の 早 の に 別に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に 。 に に 。	更期 め 事	ta t	を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主会の付し、のででは、会会でである。 ○利便性向上のため、りを、のででは、のででは、のででは、できる。 ○特別徴収義のでは、のでででででできる。 ○特別は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	に111222233<	税にたに別抑伴 る産。 知なの導、着徴止い Sスま査 特通 延入徴手収す還 M)た、別知	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 コし者速 務制減一の必引丁加 年内 一、にや 者度をトた要き寧し 年内 一、にや 者度の でしかが)なた 度容 ト権対か への</td><td>特 オ、あ 及 相 場 に S メ 告 し こ 美</td><td>入済者を行は して いの 当知はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知なの 対する かっぽ がする かっぽん かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいしょう しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし</td><td>プリし の要費</td><td>付は 率 あ 等 、 を る 等 、 、 に 別に の 早 の に 別に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に 。 に に 。</td><td>更期 め 事</td><td>ta ta t</td><td>を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 コし者速 務制減一の必引丁加 年内 一、にや 者度をトた要き寧し 年内 一、にや 者度の でしかが)なた 度容 ト権対か への	特 オ、あ 及 相 場 に S メ 告 し こ 美	入済者を行は して いの 当知はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知なの 対する かっぽ がする かっぽん かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう かいしょう しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし	プリし の要費	付は 率 あ 等 、 を る 等 、 、 に 別に の 早 の に 別に の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に 。 に に 。	更期 め 事	ta t	を けり は いい は いい に に に に に に に に に に に に に
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主会のではま会のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	に和行滞たの気組容を催っ制め別5動担告て度細別5要、生動保やいのや日ま理特をにす財く周か	税にたに別抑伴 る産。 知なの導、着徴止い Sスま査 特通ラ延入徴手収す還 M)た、別知シ	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 J 内外で</td><td>特ォ、あ及相場 にお メ告しこ 送遵集別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を収決納。口をに 施び セ化はっ すを同収割 しきい</td><td>入済者 座行は 「上午」 これの調けはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 選フ対 替必備 サっ産 初すた。</td><td>プリし の要費</td><td>付は</td><td>更期 め 事</td><td>は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>を けり い は い は い る り と は い る た は り も か る を も の る を り た り た り た り た り た り の も の も の も の も の も の も の も の も の も の</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 J 内外で	特ォ、あ及相場 にお メ告しこ 送遵集別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を収決納。口をに 施び セ化はっ すを同収割 しきい	入済者 座行は 「上午」 これの調けはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 選フ対 替必備 サっ産 初すた。	プリし の要費	付は	更期 め 事	は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を けり い は い は い る り と は い る た は り も か る を も の る を り た り た り た り た り た り の も の も の も の も の も の も の も の も の も の
問題点・課題問題	○行政収入のその他は主会ができません。 ○行政収入のその他は、分ができません。 ○付したのたができません。 ○付したがは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	に和行滞たの気組容を催っ制め電財子財子まま<	税にたに別抑伴 る産。 知な に の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納 延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 コし者速 務制疑 ツボーの必引丁加 年内 一、にや 者度応 トをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 バンめが)なた 度な 「催対か」なうが、ブ</td><td>特ォ、あ及相場 にお メ告しこ 送尊集 ン別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ンクリング かい でき しい しい</td><td>入済者を行は 「一」では、当知し、利はアに、振う予した価・ジ図財は、当知し、利のでは、対すた。 中の産 一初すた。 用のでは、対する</td><td>プリレーの要費</td><td>寸は 率 あ 等 一 税 も め か 特 知 か 電 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で で で で か に 別 に な 子 で で で で で で で で で か に 別 に な 子 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>更期 め 事</td><td>な こう と さ と で と で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>を けり に に に に に に に に に に に に に</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 コし者速 務制疑 ツボーの必引丁加 年内 一、にや 者度応 トをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 バンめが)なた 度な 「催対か」なうが、ブ	特ォ、あ及相場 にお メ告しこ 送尊集 ン別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ンクリング かい でき しい	入済者を行は 「一」では、当知し、利はアに、振う予した価・ジ図財は、当知し、利のでは、対すた。 中の産 一初すた。 用のでは、対する	プリレーの要費	寸は 率 あ 等 一 税 も め か 特 知 か 電 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で で で が に 別 に な 子 で で で で で で で で で か に 別 に な 子 で で で で で で で で で か に 別 に な 子 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	更期 め 事	な こう と さ と で と で で で で で で で で で で で で で で で	を けり に に に に に に に に に に に に に
問題点・課題問題の	○行政収入のその他は、分のでは、人のでは、人のでは、人ののでは、人ののでは、人のでは、人のでは、人のでは	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ射年 5111 <td>税にたに別抑伴 る産。 知な にグの導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤延入徴手収す還 M)た、別知シ 付納</td> <td><ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 ヨし者速 務制疑 ツ生滅一の必引丁加 年内 一、にや 者度応 トしをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トし、フめが)なた 度な / (権対か) への答 バた</td><td>特 オ、あ 及 相場 に 3 メ 告 し こ 美 蔓 集 シ 持 別 ン 未 る び 談 合 実 よ ッ 強 て 行 付 守 を 一 キ 別 収決納。 口 を に</td><td>入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務</td><td>プリレーの要費</td><td>寸は 率 あ 等 、 を る 等 、 で る 等 、 で る 等 、 で る 等 、 で る 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に</td><td>更期 め 事</td><td>は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>をよる。</td></li></ul></td>	税にたに別抑伴 る産。 知な にグの導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤延入徴手収す還 M)た、別知シ 付納	<ul><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより</li><li>おより<td>増マ上く天、曽 和善 ヨし者速 務制疑 ツ生滅一の必引丁加 年内 一、にや 者度応 トしをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トし、フめが)なた 度な / (権対か) への答 バた</td><td>特 オ、あ 及 相場 に 3 メ 告 し こ 美 蔓 集 シ 持 別 ン 未 る び 談 合 実 よ ッ 強 て 行 付 守 を 一 キ 別 収決納。 口 を に</td><td>入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務</td><td>プリレーの要費</td><td>寸は 率 あ 等 、 を る 等 、 で る 等 、 で る 等 、 で る 等 、 で る 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に</td><td>更期 め 事</td><td>は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>をよる。</td></li></ul>	増マ上く天、曽 和善 ヨし者速 務制疑 ツ生滅一の必引丁加 年内 一、にや 者度応 トしをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トし、フめが)なた 度な / (権対か) への答 バた	特 オ、あ 及 相場 に 3 メ 告 し こ 美 蔓 集 シ 持 別 ン 未 る び 談 合 実 よ ッ 強 て 行 付 守 を 一 キ 別 収決納。 口 を に	入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務	プリレーの要費	寸は 率 あ 等 、 を る 等 、 で る 等 、 で る 等 、 で る 等 、 で る 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に	更期 め 事	は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。
問題点・課題問題	○行政収入の代表の ○行利便性のによりです。 ○付したが、 ○付したが、 の付したが、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののは、 のいまでは、 のいまでは、 のの。 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 のの。 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ射年 5111 <td>税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し滞し収し る付</td> <td>帯(ないく)</td> <td>増マ上く天、曽 和善ヨし者速 務制疑 ツ生期減一の必引丁加 4杏 ヨし者速 務制疑 ツ生期をトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トしに、フめが)なた 度容 ト催対か への答 バキ個</td> <td>特オ、あ及相場 におくまして、美尊集 シ特別別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡収決納。口をに し評 一を、たる問動 ク収を</td> <td>入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務</td> <td>プリレーの要費</td> <td>付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早</td> <td>更期 め 事 一令 の更崔行 数つ対 納収納なの て 態 一和 安な告つ 収い応 税義付る財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周</td> <td>な こう と さ と で と で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>をよる。 り容 見会押 制き 法切い い</td>	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し滞し収し る付	帯(ないく)	増マ上く天、曽 和善ヨし者速 務制疑 ツ生期減一の必引丁加 4杏 ヨし者速 務制疑 ツ生期をトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トしに、フめが)なた 度容 ト催対か への答 バキ個	特オ、あ及相場 におくまして、美尊集 シ特別別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡収決納。口をに し評 一を、たる問動 ク収を	入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 一令 の更崔行 数つ対 納収納なの て 態 一和 安な告つ 収い応 税義付る財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	な こう と さ と で と で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点・課題問題の	○行政収入のその他は、分のでは、人のでは、人のでは、人ののでは、人ののでは、人のでは、人のでは、人のでは	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ射年 5111 <td>税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し滞し収し る付</td> <td>帯(ないく)</td> <td>増マ上く天、曽 和善 ヨし者速 務制疑 ツ生滅一の必引丁加 年内 一、にや 者度応 トしをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トし、フめが)なた 度な / (権対か) への答 バた</td> <td>特オ、あ及相場 におくまして、美尊集 シ特別別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡収決納。口をに し評 一を、たる問動 ク収を</td> <td>入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務</td> <td>プリレーの要費</td> <td>付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早</td> <td>更期 め 事</td> <td>は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>をよる。 り容 見会押 制き 法切い い</td>	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し滞し収し る付	帯(ないく)	増マ上く天、曽 和善 ヨし者速 務制疑 ツ生滅一の必引丁加 年内 一、にや 者度応 トしをトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トし、フめが)なた 度な / (権対か) への答 バた	特オ、あ及相場 におくまして、美尊集 シ特別別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡収決納。口をに し評 一を、たる問動 ク収を	入済者を行は して このます ずれませい しゅう こうま はアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義還プ対 替必備 サっ産 初すた 用務	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事	は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点·課題	○行政収入のその付息を ○行政収入の上のでは、 ○付したのでは、 ○付したのでは、 のでは、	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 ・一つでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる 居動 グ収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。
問題点·課題	○行政収入のその付息を ○行政収入の上のでは、 ○付したのでは、 ○付したのでは、 のでは、	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ射年 5111 <td>税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し滞し収し る付</td> <td>帯(ないの) 金た率で給た額 ・一つでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ</td> <td>増マ上く天、曽 和善ヨし者速 務制疑 ツ生期減一の必引丁加 4杏 ヨし者速 務制疑 ツ生期をトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トしに、フめが)なた 度容 ト催対か への答 バキ個</td> <td>特オ、あ及相場 におくまして、美尊集 シ特別別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡収決納。口をに し評 一を、たる問動 ク収を</td> <td>入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、</td> <td>プリレーの要費</td> <td>付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早</td> <td>更期 め 事 一令 の更崔行 数つ対 納収納なの て 態 一和 安な告つ 収い応 税義付る財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周</td> <td>は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>をよる。 り容 見会押 制き 法切い い</td>	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し滞し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 ・一つでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	増マ上く天、曽 和善ヨし者速 務制疑 ツ生期減一の必引丁加 4杏 ヨし者速 務制疑 ツ生期をトた要き寧し 年内 一、にや 者度応 トしに、フめが)なた 度容 ト催対か への答 バキ個	特オ、あ及相場 におくまして、美尊集 シ特別別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡収決納。口をに し評 一を、たる問動 ク収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 一令 の更崔行 数つ対 納収納なの て 態 一和 安な告つ 収い応 税義付る財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点·課題	○行政収入のその付息を ○行政収入の上のでは、 ○付したのでは、 ○付したのでは、 のでは、	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 ・一つでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる 居動 グ収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点·課題	○行政収入のその付息を ○行政収入の上のでは、 ○付したのでは、 ○付したのでは、 のでは、	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる 居動 グ収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。
問題点・課題問題の	○行政収入のその付息を ○行政収入の上のでは、 ○付したのでは、 ○付したのでは、 のでは、	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる 居動 グ収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。
問題点・課題   問   ①   ②   ③   施状況	○行政収入のその他は、分のでは、分のでは、分のでは、ののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、ののでは	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる 居動 グ収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点・課題   問   ①   ②   ③   施状況   況   に   一 ②   一 ③   一 他区の実   議	○行政収入のその他は、分のでは、名ののでは、名のでは、名ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる問動 ク収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点・課題   問   ①   ②   ③   施状況   況   に   一 ②   一 ③   一 他区の実   議	○行政収入のその他は、分のでは、名ののでは、名のでは、名ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる問動 ク収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点・課題   問   ①   ②   ③   施状況   況   に   一 ②   一 ③   一 他区の実   議	○行政収入のその他は、分のでは、名ののでは、名のでは、名ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる問動 ク収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点・課題   問   ①   ②   ③   施状況   況(要旨)     一	○ 付態 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 6 からまままは 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる問動 ク収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い
問題点・課題   問   ①   ②   ③   施状況   況   に回り   一 ②   一 回り   一 回り   一 回り   一 回り   議   日 回り   日 回	○ 付態 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	に和行滞たの気組容を催っ制め電バ対射年 3 う納め発変む担告て度細子ンし以下 3 う納め発変ま保やいのや納キて以下 4 からあまは以下 5 からはままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままは 5 からまままと 5 からまままと 6 からまままと 7 からまま<	税にたに別抑伴 る産。 知な にグ適の導、着徴止い Sスま査 特通ラ 納誤対な延入徴手収す還 M)た、 別知シ 付納し金沸し収し る付	帯(ないの) 金た率で給た額 のス向い与めが 令改「活未押」取にびいやが、のののののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	増マ上く天、曽 和善ヨし者速、務制疑・火を型別減一の必引丁加 4善ヨし者速、務制疑・ツ生期知を卜た要き寧し 年内 一、にや、者度応 トしにに、「力めが)なた 度容 / 権対か への答・バた個別で、フめが)なた	特ォ、あ及相場 こる メ告しこ 美尊集 シ特別の別ン未るび談合 実よ ツ強て行 付守を キ別連た収決納。口をに 施び セ化はつ すを同 ン徴絡。収決納。ロをに し評 ーを、たる問動 ク収を	入済者を行は して を こるます がなをはアに 振う予 た価 ジ図財。 当知し 利義し還フ対 替必備 サっ産 初すた 用務、	プリレーの要費	付は 率 あ 等 一 税 もめか 特知か 電別で の早 高 。の で 収 、 に 別にな 子徴の の早	更期 め 事 常 の更催行 数つ対 納収納らなの て 態 和 安な告っ 収い応 税義付する財 い も 年体 的徴財い 務、行 適者周	は ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	をよる。 り容 見会押 制き 法切い い